

東伊豆アドベンチャーラリー2020

■アドベンチャーラリー ファミリークラス 優勝者コメント

藤井4我Y 藤井 裕大さん

藤井4我Sというチーム名で、4人の息子（亮我・大我・昂我・友我）と一緒に、毎年夏季はトライアスロンやアクアスロン、冬季はマラソンなど様々なレース出ています。親子マラソンや数年前からはロゲイニングにも手を伸ばしてきました。しかし今年はコロナの影響でほとんどの大会が開催されず、目標を見失っていました。そんな時、この東伊豆アドベンチャーを見つけました。名古屋からは少々遠かったのですが、2つの部門（私と四男がファミリーに長男と三男がフレンドシップに）に分かれて対決をすることにしました。次男はラグビーの練習で参加できず、本当は妻も参加したがっていましたが...

私が出場しているほとんどの大会はフラットな平面ですので、この大会はとてもきつかったです。市街地の地図を読むロゲイニングとは違い、地図から等高線の幅から高低差を読むのも相当大変でした。途中道を外れ、山の中を転げ落ちることもあり、運良くチェックポイントを見つけられたことが勝敗を分けたのかなあとと思います。長男三男のチームは逆回りをし、時間制限のためたこ揚げができなくなってしまったようですが、それでもがんばって最後まで時間内にゴールを目指した結果が2位でした。

帰りは北川温泉に入り、はじめて訪れた東伊豆の良さに、コロナを忘れることができた2日間になりました。コロナの終息がみられない中、大会を開催していただきありがとうございました。世間がギスギスしている中、ほっとできるひとときでした。開催に向け、多くの方のご尽力と東伊豆の街全体をあげての大会に感謝致します。

1週間後、今度は関西で長男とトライアスロンで対決してきます。

■アドベンチャーラリー カップルクラス 優勝者コメント

加波一族 紫組 久保 和彦さん

昨年、初めて参加させてもらいました。前回は、ポイントは全部回りましたが、クイズが1問不正解。さて、今年はどうなるでしょうか。全部回って、クイズもゲームもパーフェクトできるといいなあ、いや、楽しくポイントを回ってゆこう、と思って参加させてもらいました。

強い日差しと青い空。真夏の1日の始まり。地図をもらい、ざっくりと検討。去年は、半時計周りだったから、今年は時計周りで行ってみよう！と、相方と話し合いスタート！

まずはCP8の双眼鏡ポイントへ。1番で到着！汗だく。幸先良いぞと思って、CP1へ。直接、行こうと草むらに入ると、背丈より高い。。方向はなんとなく合ってるが、CP1の岩が見えなくなり、不安になってしまう。術中にはまったなと思いながら、いったん草むらを出ることにした。再度、落ち

着いて草の少なさそうな上部から再アプローチ。その時点で数チームは前に行ってしまい。。。自分たちの気持ちと雰囲気を立て直しながら、マイペースでCP3、CP9へ進む。照りつける太陽が、体力を奪ってくるが、水分補給をこまめにしながら、三筋山山頂を抜け、CP6へ。

以後、CP7→10→5の予定だった。林道を順調に走り、CP7へ向かうが、途中で方向が違ってくることに気づく。。。少し戻って、どこかで下ることも考えたが、ちょっと自信がないのと、時間がかかりそうだったので、すぐに作戦変更。確実性をとって、CP5→10→7にした。CP10のチームチャレンジ。くじを引いて記載の重さになるようビニール袋に入れて測定する。前後300gまでで成功となる。チャンスは2回。くじを引いて4キロの重さだった。自分たちは周りの石を集めて、1回目にチャレンジ。7kg。。。石の組み合わせを変え、相方のセンスが発揮。2回目で成功！！一気に気分も上がり、CP7へ。林の中でのクイズ。バラバラになった文字がどうしても読めず。。。若者チームがさっと見て去ってゆく。やはり、頭の柔軟性がないのは年齢のせいかと落ち込んでいたが、ようやく気づいて次へ向かうことにした。CP4から安全確実にちょっと回り道してCP2へ。ここのクイズ。ちょっとわからず。。。相方と話し合いながら、ゆっくりゴールへ向かう。普段のレースならばラストスパートをかけるところだが。。。ゴール間際に桜並木になってたので春の絵を選びゴール！あとから答えを聞いたら、まったくクイズの内容とは違っていたが、偶然、答えはあっていたようで。。。暑さと喉の渇きで、ゴールしてからのサイダーとゼリーは格別でした！

結果的には全部回って、ゲームとクイズを全部クリアしたので、相方とともに大満足の1日となりました。クイズやゲームはじっくりと、ポイントへのアプローチは早めの判断のおかげで優勝出来たのではないかと思います。お祝いにお寿司を食べて、帰路につきました。

最後にこのコロナ禍で数々のイベントが中止になる中、実施していただいたエクストレモの皆様、受け入れていただいた地元の皆様、普段とは違う配慮やご苦勞もあつたかとは思いますが、思い出に残る1日を過ごさせていただき本当にありがとうございました。